

Europe Indicators

発表日: 2020年5月22日(金)

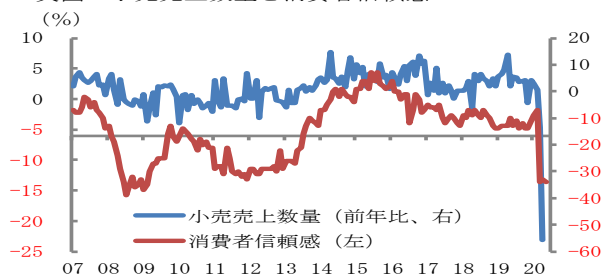
欧州経済指標コメント: 4月英国小売売上高

～対面販売型の消費は平時の半分以下～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

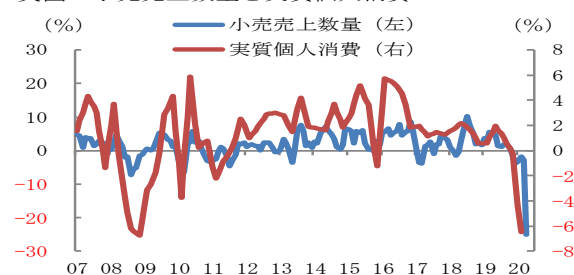
- 4月の英国の小売売上数量は前月比▲18.1%と前月の同▲5.2%に次いで大幅に落ち込み、単月の落ち幅、累積の落ち幅の何れも過去最大を更新した。ガソリンスタンドを除くベースでも同▲15.2%と3ヵ月連続の減少となった。英国が都市封鎖を開始したのは3月23日と多くの欧州諸国に比べて遅く、前月の計数は都市封鎖による経済活動停止の影響を完全には反映していなかった。今月の一段の落ち込みは影響がいよいよフルに顕在化したことを示唆。英国では感染者のピークアウトが遅れ、少なくとも6月1日までは都市封鎖が継続されることが決まっている。携帯電話の位置情報などに基づく速報性の高いデータによれば、5月入り後も経済活動の回復は鈍い。5月は多少のリバウンドが予想されるが、反発は軽微なものにとどまりそうだ。
- 小売数量の内訳をみると、外出自粛の影響で非店舗型小売店（前月：同+6.0%→今月：同+18.0%）が引き続き大幅に増加したものの、買い溜め一巡で前月に増加した食料品店（同+10.1%→同▲4.1%）と百貨店・スーパー（同+2.6%→同▲25.3%）が反落し、衣料品店（同▲34.9%→同▲50.2%）、家庭用品店（同▲8.7%→同▲45.4%）、その他非食料品店（同▲25.5%→同▲46.0%）、ガソリンスタンド（同▲18.7%→同▲52.0%）が続落した。
- その他の消費関連統計は、4月の新車登録台数は僅か4321台にとどまり（4月は通常15～16万台程度）、前年比▲97.3%の記録的な落ち込み。同日発表された5月のGfK消費者信頼感指数は▲34と、3月に急落した後はほぼ同水準で推移している。

■英国: 小売売上数量と消費者信頼感



注: 小売売上数量はガソリンスタンドを除く、3ヶ月移動平均
 出所: 英統計局、GfK

■英国の小売売上数量と実質個人消費



注: 小売売上数量は3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率
 個人消費は前期比年率 出所: 英統計局

■英国の小売売上数量 (季節調整済み、前期<月>比、%)

	2019			2020	2019				2020				
	2Q	3Q	4Q	1Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
小売売上数量・合計	1.6	0.4	0.5	-1.0	-0.4	-0.2	0.1	-0.9	-0.7	1.2	-0.3	-5.2	-18.1
除くガソリンスタンド	1.3	0.4	0.5	-1.0	-0.4	-0.1	0.0	-0.8	-1.0	1.9	-0.5	-3.8	-15.2
食料品店	1.0	-0.5	0.4	-0.5	0.3	0.2	0.1	-0.6	-1.4	2.2	-0.2	10.1	-4.1
非食料品店	0.3	0.3	-0.4	-0.9	0.1	0.0	0.0	-0.8	-1.3	1.5	0.1	-19.5	-41.7
百貨店・スーパー	-0.5	-1.2	-0.3	0.1	-1.0	-0.8	2.9	-2.2	-1.2	0.9	-0.6	2.6	-25.3
衣料品店	1.6	0.8	-0.9	-1.8	0.0	0.4	-0.8	-0.9	-2.1	4.0	0.3	-34.9	-50.2
家庭用品店	-3.9	0.3	-0.7	0.4	2.5	1.8	-1.6	0.5	-1.0	-0.9	1.1	-8.7	-45.4
その他	2.4	0.9	0.1	-1.4	-0.6	-0.9	0.0	-0.6	-0.9	1.3	-0.2	-25.5	-46.0
非店舗型小売	6.6	3.4	4.3	-3.0	-4.0	-1.3	-0.2	-1.7	1.7	2.3	-3.1	6.0	18.0
ガソリンスタンド	4.0	0.3	-0.3	-0.1	-0.2	-1.8	1.3	-1.2	2.1	-5.1	1.3	-18.7	-52.0
小売売上高・合計	1.5	0.5	0.7	-0.8	-0.1	-0.4	0.2	-0.9	-0.3	1.6	-0.7	-5.9	-18.7

出所: 英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

